



新ひだか町立病院コラム Vol. 59

笑顔が生まれた、病院クリスマス



12月25日、クリスマスの朝。病院の中にも、ささやかながら温かなひとときが訪れました。この日、サンタクロースの装いをした院長が病棟を回り、入院されている患者さま一人ひとりにメッセージカードを手渡しました。突然現れたサンタに、病室の空気は一瞬で和らぎました。

カードを受け取った患者さんからは、「わあ、サンタさんだ」「まさか病院で会えるとは思わなかった」といった声が聞かれ、思わず笑顔になる姿も見られました。入院生活は治療が中心となり、どうしても気持ちが沈みがちになりますが、その表情はいつもより柔らかく、病室には明るい声が広がっていました。

院長のサンタ姿は、豪華な演出ではありません。しかし、ほんのわずかの驚きと、季節を感じる出来事が、患者さまの心に小さな温もりを届けてくれたように感じます。医療は身体を治すことが大切である一方、心が和らぐ時間もまた、回復を支える大切な要素と考えます。

入院中であっても、季節の行事を感じ、誰かと笑い合うひとときがあれば、前向きな気持ちにつながります。今回のクリスマスの出来事は、病院が治療の場であると同時に、人の心にも寄り添う場所でありたいという熱い思いを、改めて感じさせてくれました。

これからも町立病院では、患者さまが少しでも安心して過ごせるよう、医療とともに心のケアを大切にしていきたいと考えています。



18年間毎年続けている行事です！！

院長のつぶやき



院長の小松です。

12月25日、今年も院長サンタが病院にやって来ました。毎年恒例のこの行事は、病棟看護スタッフの協力のもと、入院されている患者様お一人おひとりに、励ましの言葉を添えたクリスマスカードをお届けするものです。

近年は高齢化の進行により、病状が思わしくない方だけでなく、退院後の行き先が決まらないまま年越しを迎える患者様も増えてきています。さらに今年は、インフルエンザ感染症の流行が例年より約1か月早く始まり、現在も終息の兆しが見えない状況が続いています。その影響で、面会がかなわず、ご家族と会えないまま入院生活を送られている患者様もいらっしゃいました。

そのような中で、カードを本当にうれしそうに受け取ってくださる患者様の姿や、普段はなかなか意思疎通が難しい患者様が、ふとにっこりと笑顔を見せてくださった瞬間に、私たち職員の方が元気をもらいました。治療を行う場であると同時に、心に寄り添う場所でありたいという思いを、改めて感じたクリスマスのひとときでした。2026年が皆様にとってより良い年となりますように。Boun Natale e Felice Anno Nuovo!

作成: 新ひだか町立病院

❀ 町立静内病院 0146-42-0181 (代表)

❀ 三石国保病院 0146-33-2231 (代表)